

協議会組織による地域営農の確立

令和3～7年度

～今金町金原・鈴金地区での重点普及活動の取り組み（重点対象31戸）～（支所地域係）

1 背景・活動のねらい

- ・労働力不足や後継者不足への対応が急務
- ・水稲作付面積確保のため省力化技術の導入が望まれている
- ・大豆の高位安定化技術確立が求められている
- ・ミニトマトの省力化と増収技術の導入が必要
- ・肉牛の素牛資質向上による収益性の安定化が求められている

キャッチフレーズ：「思いひとつに、挑戦！
踏み出そう新たな一歩を！」

普及センターの活動

- ・地域協議会組織による地域営農維持
- ・所得確保に向けた生産性向上

2 活動の主な成果

(1) 地域協議会組織による地域営農維持

若手農業者による地域課題整理と話し合いの推進 検討会開催回数 目標3回→実績3回

将来的な作付け面積増加に向け、省力化や収量・品質向上の関心が高まった！

ほ場図を見ながら、農地利用の意見交換、現地研修会・役員会で課題解決に向けて取り組んでいる試験展示ほの情報共有を行った。

個別巡回などを通じた話し合いの推進で、地域課題解決への関心が高まった。



農地利用意見交換



役員会

(2) 所得確保に向けた生産性向上

①水稲直播栽培の安定生産 品種検討・施肥改善戸数 目標2戸→実績2戸

「えみまる」の増収効果を確認！

現行の「大地の星」より収量と品質が安定する「えみまる」導入を提案し、2戸が栽培実証に取り組んだ。

苗立本数は確保しており、1戸で「えみまる」が多収となり、増収効果を確認できた。

農家	品種	苗立数 (本/m ²)	収量 (kg/10a)
A	えみまる	180	563
	大地の星	196	491
B	えみまる	198	327
	大地の星	144	460



「えみまる」の紹介

緩効性肥料の追肥効果を確認！

区分	肥料名	苗立数 (本/m ²)	収量 (kg/10a)
試験区	BBDd030LPS	188	522
	BB211LPS		
慣行区	硫安	196	491
	硫安		



流し込み追肥の説明

農家	取組技術	
	緩効性肥料	硫安流し込み追肥
A	○	○
B	—	○

緩効性肥料の施肥試験を1戸で取り組み、追肥の省力化・増収効果を確認できた。

硫安の流し込み追肥の情報提供を行ったところ、2戸が実践した。

②大豆の高位安定技術確立 大豆早期は種・施肥改善戸数 目標3戸→実績2戸

早期は種の取り組み戸数が増加！

水稻移植前の早期は種に3戸が取り組んだ。慣行は種では、は種以降の降雨が少なく発芽不良が発生した。

2戸で早期は種による増収効果を確認できた。



早期は種に取り組んで良かった！

生産者の声

農家	区分	製品収量 (kg/10a)	慣行は種比較
A	早期は種 (5/16)	277	114%
	慣行は種 (5/30)	243	
B	早期は種 (5/17)	183	219%
	慣行は種 (5/30)	83	
C	早期は種 (5/17)	258	76%
	慣行は種 (5/30)	340	



少雨による発芽不良

開花期追肥で収量・収益向上！

開花期追肥の実証試験に3戸が取り組んだ。徒長を心配する声も聞かれたが、倒伏もなく2戸で収量並びに収益は増加した。



徒長による倒伏は大丈夫なのか？

生産者の声

農家	区分	製品収量 (kg/10a)	無追肥比較	農家	増収量 (kg/10a)	増加粗収入 (円/10a)	差引収益 (円/10a)
A	追肥区	299	108%	A	22	7,403	5,742
	無追肥区	277					
B	追肥区	221	105%	B	10	3,365	1,704
	無追肥区	211					
C	追肥区	248	96%	C	▲ 10	▲ 3,365	▲ 5,026
	無追肥区	258					

③ミニトマトの安定生産 省力・増収技術導入戸数 目標1戸→実績1戸

連続摘房で収量・売上が増加！

主枝1本および側枝2本仕立て栽培での主枝切換、連続摘房技術の実証に1戸が取り組んだ。「1本仕立て+連続摘房」が9～10月の増収効果が最も高く、主枝切換より連続摘房で収量および売上が増加した。

区分	収量 (kg/100坪)			慣行比 (%)	区分	粗収益 (千円/100坪)			慣行比 (%)
	7~8月	9~10月	合計			7~8月	9~10月	合計	
1本仕立て+主枝切換	1,590	982	2,572	92	1本仕立て+主枝切換	908	583	1,491	88
1本仕立て+連続摘房	1,772	1,028	2,800	100	1本仕立て+連続摘房	1,006	675	1,681	100
2本仕立て+主枝切換	1,352	744	2,096	75	2本仕立て+主枝切換	759	452	1,211	72
2本仕立て+連続摘房	1,357	872	2,229	79	2本仕立て+連続摘房	738	536	1,274	76
慣行区 (1本仕立て)	1,799	1,010	2,809	100	慣行区 (1本仕立て)	1,085	602	1,687	100

④肉牛の素牛飼養管理改善 飼養環境・栄養状態改善戸数 目標3戸→実績2戸

素牛の栄養状態が改善！

素牛の資質向上による市場販売価格安定化と繁殖牛群の改良に向け、飼養管理改善を個別に提案。発育調査で判明した問題点と市場販売価格を提示し、飼料給餌メニューの変更を提案した結果2戸で素牛の栄養状態が改善した。

課題	課題に対する提案事項	取組結果
・離乳時腹胸比1.2以上 (市場評価が上がる)	・良質粗飼料の確保、給与 ・飼料メニュー (濃厚飼料) の変更	・腹胸比の改善 (1.12→1.21) ・市場価格に反映 (向上)
・子牛の貧血予防	・鉄剤剤、ビタミン剤の適正投与	・子牛出生時処置技術の定着
・粗飼料品質の向上 (草地の植生維持)	・優良草地の維持、造成 (適正施肥管理) ・牧草高刈りの推進	・粗飼料品質に対する理解醸成

3 今後に向けて

- ①若手農業者による地域営農維持に向けた課題解決の取り組みを支援する。
- ②水稻直播栽培の除草体系改善支援、「えみまる」の評価について引き続き検討を行う。
- ③大豆の早期は種栽培を再度調査し、効果を確認する。
- ④肉牛の発育調査を継続する。また、良質粗飼料生産に向けた技術導入を支援する。